



担任の先生にお願い

わかってもらっていると安心です

<学校生活で吃音のある小学生が困りやすい場面>



- ・日直の号令や司会
- ・返事
- ・自己紹介
- ・朝の健康観察「はい。元気です。」
- ・一人で音読(○読み等)
- ・一人で発表(決まった言葉・長い説明)
- ・かけ算九九や計算カード、百人一首等の口唱
- (早口で・時間内に・計測 など)
- ・劇のセリフ
- ・卒業式の呼びかけ
- ・委員会等の発表で決まったセリフを言う
- ・友達とのおしゃべり
- ・グループ学習(討論など)

そこで…

こんな対応があります 参考にしてください

- ☺ 日直を2人に または 先生と一緒に
- ☺ 音読は2人や数人、全員で
- ☺ 事前に本人や保護者と相談(吃音があっても音読や発表したい児童はいる)
- ☺ 複数のセリフを用意し、本番はどれを言ってもよいことにする
- ☺ 困っていないか本人に確認(定期的)
- ☺ 速さではなく内容で評価
- ☺ 自己紹介や健康観察の言葉を決めずに、本人の言いやすい言葉にする
- ☺ 話し終わるまで待つ
- ☺ ゆったりとした態度や口調で話しかける
- ☺ 周囲の友達へ理解を求める
- ☺ 発表のサインを本人と決める
- ☺ 対応を本人と2人で相談する ← **これが大切です!**

先生方へ

※本人と 吃音のことを 話題にしても 悪化することはありません!

時々 吃音のことを 話しておく、いざ困ったときに 先生に 相談しやすくなると思います。

注意! 周囲の友達に話すかは、本人と相談してください。

本人の同意なしで吃音のことを話してしまうと 子どもによっては 嫌がる場合があります。周囲に伝えるのか? どう伝えるのか?などは、本人や保護者としっかり相談してください。

※詳しくは **周囲の理解②③④** をご覧ください